



2021南中学校通信
第1号
令和3年4月8日
校長 北村 浩久

4月を迎え、いよいよ令和3年度がスタートしました。昨年度は、新型コロナウイルス対応として、様々な教育活動に制限をかけなければならず、保護者や地域の皆さまには、ご心配をおかけしたり、ご無理をお願いする場面が多々ありました。しかしながら、新型コロナウイルスの猛威は依然衰えておらず、現在もまだ感染不安を拭い去ることができないのが現状です。

このような状況下のため、子どもたちの安全安心を優先させた対応にはなりますが、今年度も子どもたちの心身ともに健全な育成を目指した教育活動を精一杯進めていきたいと考えていますので、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

☆☆ **着任式・1学期始業式** ☆☆

4月6日（火）、始業式に先立って着任式を行いました。お一人ずつ紹介した後、着任した先生を代表して岡崎教頭先生から「挨拶がしっかりとできるようにしよう」と元気のいい挨拶がありました。今年度は新しく9名の先生がこの南中学校の仲間入りすることになりました。どうぞよろしく申し上げます。なお、新しく着任した先生の名前は、4月6日に配付したプリント「転入のお知らせ」でご確認ください。

着任式後、令和3年度1学期始業式を行いました。

令和2年度の修了式が終わってまだ10日ほどしか日は経っていないのですが、背筋をピンと伸ばし、しっかりと私の方を向いて話を聞いてくれている子どもたちを見て、成長を感じるとともに大変頼もしく感じました。やはり、これも学年が1つ上がり、2年生は後輩ができるという自覚、3年生は最上級学年になったという自覚が芽生えてきたのでしょう。これから始まる令和3年度に大きな期待を感じる始業式となりました。



☆☆ **令和3年度入学式** ☆☆

真新しい制服に身を包み、4月6日、166名の1年生が本校の仲間入りをしました。式前の学級発表では歓声が上がリ、これから始まる中学校生活を楽しみにしている様子がしっかりと伝わってきました。

その後行われた入学式で、緊張した面持ちで入場するその姿は初々しく、私たち教員もその任された責任の重

さに身が引き締まる思いでした。私からは式辞の中で、これからの中学校生活で大切にしてもらいたいこととして、「感謝の気持ちを忘れないこと」「友だちをたくさんつくること」「夢を持つこと」の3つのことを話しました。目を輝かせて、真剣なまなざしで式辞に耳を傾ける新入生の姿勢は素晴らしく、これから新しく始まる中学校生活に対する決意を感じることができました。

式辞の後、1年5組の坂口未来さんが、新入生を代表して「誓いの言葉」を力強く述べてくれました。その中で、本校の学校教育目標である「あしたはもっとたくかく」を実践できるよう頑張っていきたいと壇上で宣言するその姿は、新入生代表に相応しい立派な姿でした。

今はまだあどけない表情の1年生ですが、これからの中学校生活の中で心も身体も大きく成長し、南中学校をさらに発展させる大きな力となってくれるでしょう。



☆☆ 対面式 ☆☆

4月7日(水)、1年生と2・3年生の対面式を行いました。当初はグラウンドで行う予定でしたが、前日に降った雨の影響で、急きょ体育館に場所を変更し、1年生と2・3年生の代表者で行いました。その他の2・3年生は、ズームによる参加となりました。

生徒会長の江口拳志朗さんの歓迎の言葉に始まり、校歌の紹介を吹奏楽部の生吹奏と3年生徳毛大河さんの独唱で行いました。その後、生徒会本部役員の生徒が工夫を凝らして学校行事を説明してくれました。新入生代表の挨拶では、1年6組の臼井海翔さんが、これから始まる中学校生活への期待と不安の入り混じった気持ちを込め、上級生に「これからよろしくお願いします」と話してくれました。

入学してまだ3日。1年生にとっては、まったく未知の生活が続きます。そんな不安な思いが少しでも払拭できるよう、2・3年生には、良き先輩として、1年生に温かく接してもらいたいと思います。

